

事業番号	事務事業名	妊産婦歯科健康診査事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
02304	政策名	1 こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者	芦田 允予
	施策名	12 健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町妊産婦歯科健康診査費用助成に関する要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事業内容) 妊産婦の歯科健康診査に掛かる費用を、産前2回と産後1回(出産から1年以内)の計3回町が助成するもの。 (業務の手順) 母子健康手帳交付時・転入時に説明と申請書類の交付。	合併前に上齋原村で行われていた。一度廃止になったが、歯周病菌が早産や低体重児の出産につながるため、再開した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 鏡野町に住所を有する妊産婦	ア 年度内の妊婦数	人	見込 実績	150 141	150 149	150 145	150	150
イ	イ 年度内の産婦数	人	見込 実績	100 81	100 92	100 91		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 妊娠中に陥りやすい妊娠性歯周病を予防してもらう	ア 妊婦受診者件数(延)	件	目標 実績 達成率	20 28 140.0%	20 39 195.0%	30 27 90.0%	30	30 90.0%
イ 胎児の成長を促し、早産の予防を図る	イ 産婦受診者件数(延)	件	目標 実績 達成率	20 9 45.0%	20 6 30.0%	20 18 90.0%	20	20 90.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 制度の周知と浸透	ア 制度の周知件数	件	目標 実績 達成率	100 92 92.0%	100 101 101.0%	100 83 83.0%	100	100 83.0%
イ 受診券の交付と支払等の用務	イ 申請交付・審査振込件数	件	目標 実績 達成率	50 37 74.0%	50 45 90.0%	50 45 90.0%	50	50 90.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		04 項 01		02 目 01		05 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		妊産婦歯科健康診査事業					02304
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	363	363	363	303	303		一般財源	185	227	225	303	303	-2	
合計	363	363	363	303	303		合計(A)	185	227	225	303	303	-2	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20		
							人件費計(千円)(B)	70	67	67	68	68	0	
	最終予算額		363 千円		予算執行率	61.9%		トータルコスト(A+B)	255	294	292	371	371	-2
主な支出事業内容(予算)	需用費 消耗品費				3 千円		主な支出事業内容(決算)	需用費 消耗品費				3 千円		
	委託料 委託料(物)				240 千円			委託料 委託料(物)				190 千円		
	負担金、補助金及び交付金 補助金				120 千円			負担金、補助金及び交付金 補助金				33 千円		

事業番号	02304	事務事業名	妊産婦歯科健康診査事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
全国的に、歯科に関して予防的な視点(う歯になる前の予防的な健診の受診)での取り組みは増え、対象者の意識も高くなってきていると思われる。制度としては、平成27年度から町内歯科医療機関と委託契約を実施し、事業内容を充実させた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
母子健康手帳交付時に説明できるよう説明文を工夫し、配布することで、全妊婦に周知、産後の受診勧奨にもつなげている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
対象者からは「妊娠期からの歯科の重要性を感じている」という声を聞くことが増えてきた。町内歯科医師からは、受診者数を増加させていくためには、積極的な周知が必要、との意見が出ている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 健診の助成により受診することで、う歯や歯周病の早期発見と早期治療につながり、町民の健康づくりに結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 妊娠初期から口腔内の健康を保つことは、産後の子どもたちへの健康づくり、さらに妊産婦自身の高齢期に向けての健康づくりにも結びついており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 早期からの対応として、妊産婦を対象としており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 対象者には、転入者も含め全数周知はしているが、周知方法については向上の余地があり、成果向上させる手段はあると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 休止・廃止になれば自己負担が必要となるうえ、受診者の減少や異常出産の増加に繋がる恐れがある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 対象者には、転入者も含め全数周知はしているが、周知方法については向上の余地があり、成果向上させる手段はあると思われる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 事業費と成果が比例しており、事業費の増加が成果向上に直接つながる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 現状で必要最低限度の時間で対応しており、今以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 妊婦・産婦(出産から1年以内)は全員対象となるので公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	受診体制としては、町内歯科医療機関とは全数委託契約し対応可能となっており、受診割合も町内医療機関が8割を占めている。受診体制としては整えてきていると思われる。対象者には転入者も含め全数周知をしているが、受診数の顕著な増加はみられず、周知方法の工夫が必要と考える。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 現在の事業周知方法に加え、産後期への周知として、保健師による赤ちゃん訪問時や子育て相談(たまひよ広場)などの事業時の周知方法を検討する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>▽</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△		低下			▽
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			△																					
	低下			▽																					
産後期の周知方法(時期や媒体など)の検討		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							